

# 神楽通信

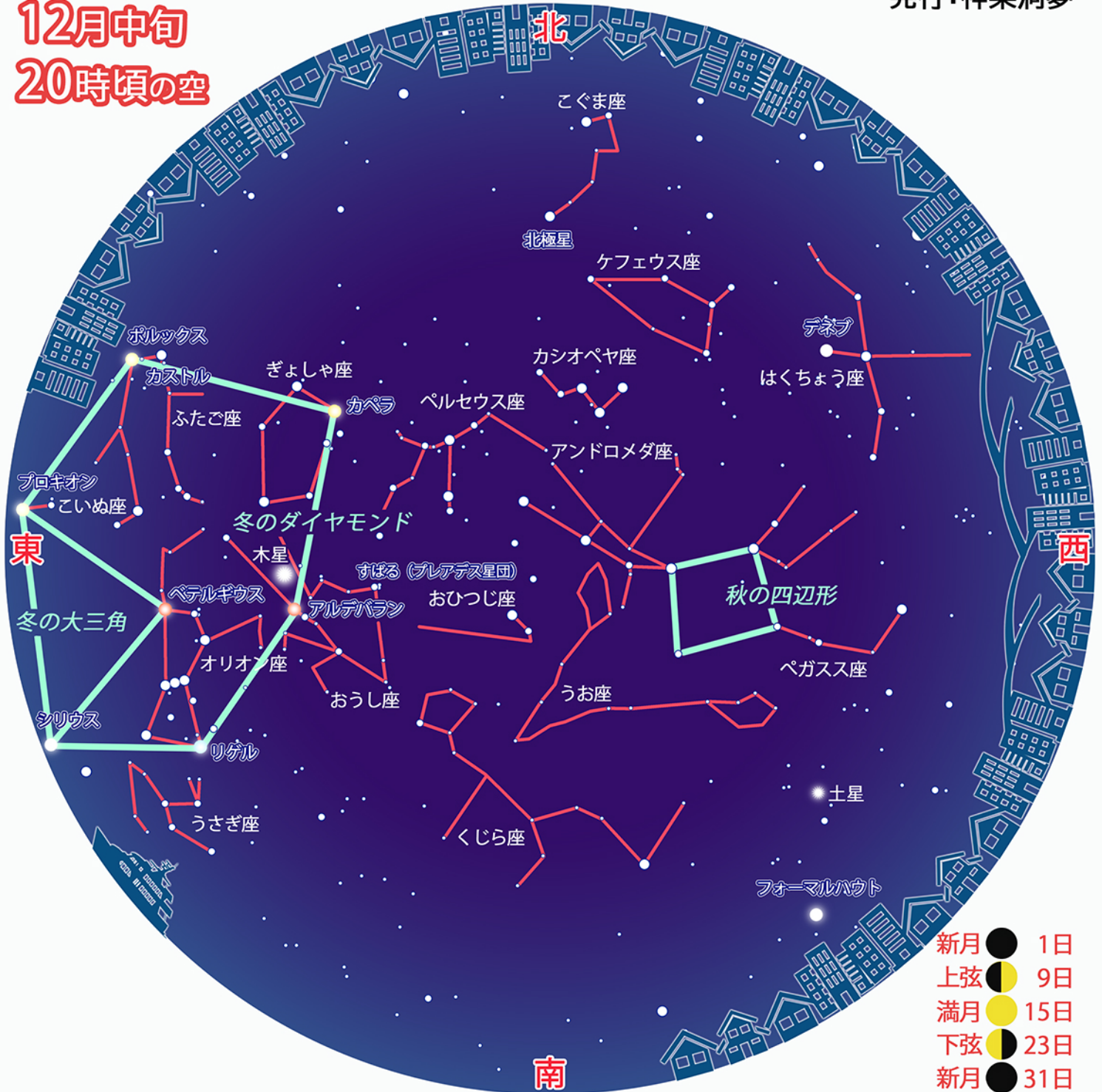
No.106

2024年

12月号

発行:神楽洞夢

12月中旬  
20時頃の空



12月21日は冬至です。一年で最も長く星空を楽しむ季節になりました。  
12月は目立つ星が月に隠される「食」がいくつか見られます。8日の夜のはじめ頃に南の空で見られる土星食、25日明け方に南東の空で見られるスピカ食は、隠れる星が明るいので、月への潜入も分かりやすいでしょう。冬の賑やかな星空を楽しみつつ、星空の奥行きを感じてみるのも良いかもしれません。

## 冬はすばる

12月に入り、明るい星の多い賑やかな星空が広がっています。

なかでも、世界中に多くの神話や伝説が残る人気の天体が、おうし座にある「すばる（プレアデス星団）」です。

プレアデス星団は、オリオン座の三ツ星を上に延ばすと見つけられ、おうし座の肩の部分に相当します。

日本でも昔から「六連星」として親しまれたり、清少納言の『枕草子』でも「星はすばる」（星はすばるが良い。）と紹介され、昔から星の集まりとして知られている星団ですが、その実態は100を越える青白く輝く若い星の集団です。肉眼では、「六連星」の通り、星が5～6個ほど集まって見えますが、双眼鏡や望遠鏡を使えば、より多くの星の群れとして見るすることができます。

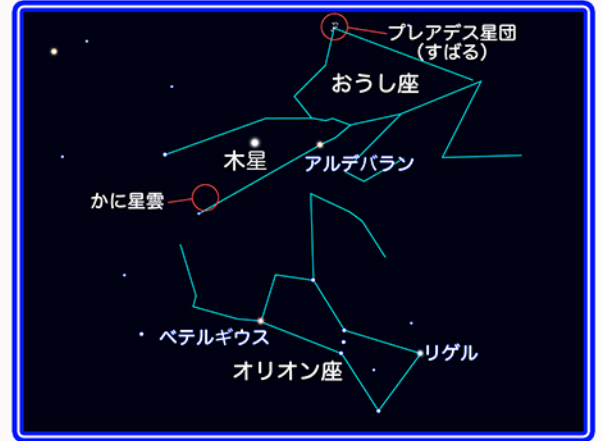
## おうし座に星の一生を見る

プレアデス星団は生まれて間もない若い星の集まりですが、おうし座には星の終焉を見ることもできます。

それが雄牛の角先部分にある「かに星雲」です。かに星雲は、恒星がその生涯の最期に起こす大爆発である「超新星爆発」の残骸で、その爆発はまだ膨張を続けています。爆発で飛び散ったガスや塵などの恒星をつくっていた元素は、宇宙空間を漂い、やがて新しい星の材料となります。

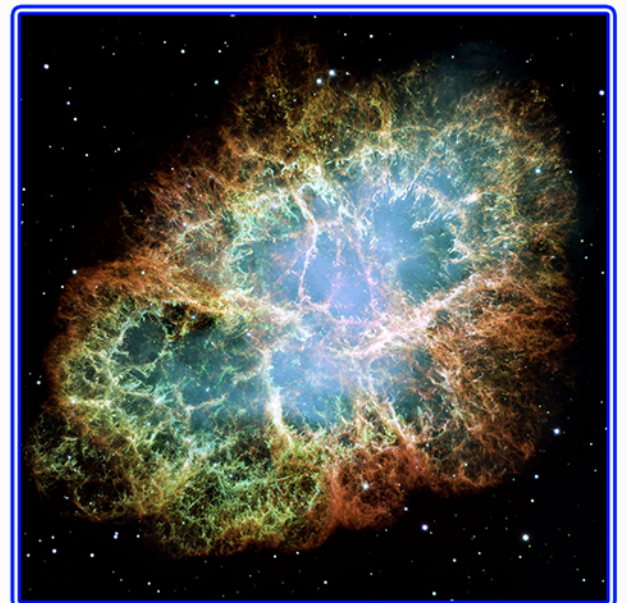
太陽もそのようなガスや塵からできたと考えられています。

今年の冬はおうし座の美しい天体を探しながら、星の一生に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



(credit: 国立天文台)

## プレアデス星団



(credit: NASA, ESA)

## かに星雲



Okasan Digital Dome Theater  
神楽洞夢  
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階  
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX.059-226-1565